

癌細胞におけるアセチルコリン受容体の意義に関する研究

1. 研究の対象

1983年1月から2016年12月までの間に当院で癌に対する外科手術が行われた患者さんで、切除標本の病理組織ブロックが当院検査部病理に保存されており、術後経過などの臨床データが入手可能な方。

2. 研究目的・方法・期間

アセチルコリン (ACh) 及びアセチルコリン受容体 (AChR) は、古典的な神経伝達物質及びその受容体として知られていますが、近年、AChR が癌細胞の増殖や浸潤にも関与している可能性が示唆され、注目されています。本研究では、癌細胞における AChR の発現を、主に免疫組織化学及び定量 RT-PCR を用いて調べ、癌の生物学的悪性度、予後、化学療法効果等との関連を検討します。研究期間は学校長承認後から令和7年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、リンパ節転移の有無、生存期間 等

試料：病理検体

研究に用いる試料・情報の管理についての責任者：加藤貴美

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（研究対象者が未成年者である場合は親権者又は未成年後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 病態病理学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2279）

FAX：04-2996-5197

研究責任者：佐藤 仁哉